



サツマサンキライ。



サツマサンキライのみ花期は冬。



サルトリイバラ。低地から高地まで。

区別のポイント

つる性の半低木。サルトリイバラは高地では落葉するが茎は枯れない。サルトリイバラとサツマサンキライの茎に刺があるが、ハマサルトリイバラにはほとんど刺はない。

形態 常緑または落葉のつる性半低木。

分布 サルトリイバラは全国に、サツマサンキライとハマサルトリイバラは九州南部以南に分布。

名前の由来 サルトリイバラは刺から、山帰来は根茎の漢方薬名から。

葉 **〈全体〉**長楕円形や卵円形で、3～7個の縦脈とそれを連絡する網状の小脈がある。

〈付き方〉普通は互生。 **〈基部〉**円形または心形。

〈葉先〉尖るまたは円形。

〈縁〉全縁。

備考

出典 1 5